

令和7年度行政評価 施策評価シート （令和6年度実績）
施策名 交通安全の推進

		施策コード	5050402
1. 施策の担当			
主管課	都市整備部 道路公園課		
関係課			

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり（安全・防災・環境）	節 第4節 生活安全
	施策	交通安全の推進	

基本方針	
・交通安全施設を整備し、重大事故の発生を軽減します。 ・引き続き、交通安全講習会等を通じて市民の交通安全に対する意識向上に努めます。	

現況と課題	
・全国の交通死亡事故死者数及び重傷者数は、共に減少しています。 ・自転車に関わる事故及び高齢者関連事故は減少傾向にありますが、発生すれば重大な事故につながります。 ・他者への配慮が足りない、運転マナーに起因する事故が増えています。	

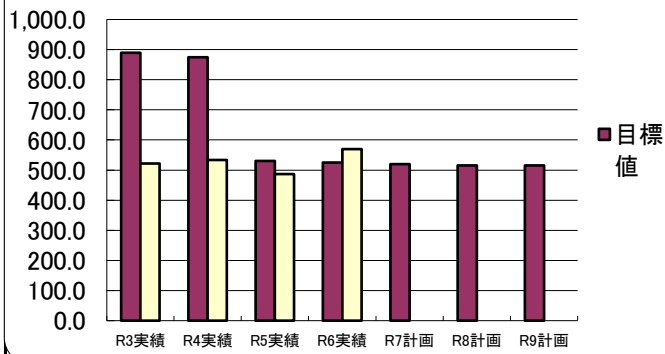
施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民	
意図（どのような状態にしたいのか）	
歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路環境を形成し、効果的な交通安全対策を実施し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止に繋がります。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	52.4	52.4					
重要度（偏差値）	54.7	54.7					

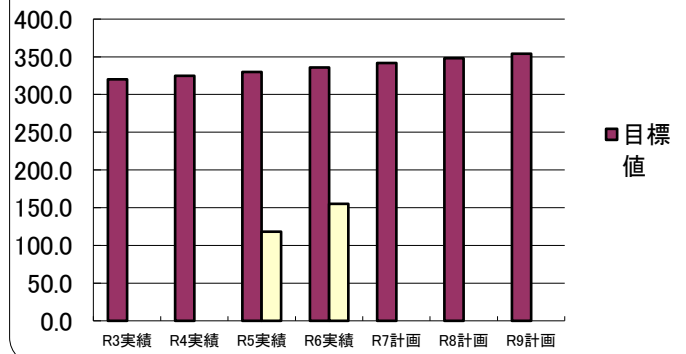
4. 施策にかかるコスト								
		単位	R5決算	R6決算				
コストの内訳	人件費	千円	20,257	21,893				
	事業費		142,754	177,577				
	フルコスト		163,011	199,470				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		110,170	156,393				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		52,841	43,077				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		32,584	21,184				

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		交通事故による死傷者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	890.0	875.0	530.0	525.0	520.0	515.0	515.0
実績値	522.0	534.0	487.0	570.0			
達成度	170.5	163.9	108.8	92.1			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この数値が減っているかを把握することで、交通の安全性が向上していることがわかります。		国・府の削減率に準じて、削減目標値を設定。 最終年度510人を目標値とした。		泉佐野市の令和6年度の交通事故による死傷者数は、令和5年に比べ増加となった。新型コロナウイルス感染症が第5類となり、社会活動の回復による交通事故件数が増加し、高齢者事故への対策など社会全体に交通安全の関心が高まっている。			
② KPI 2		安全運転講習会参加者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	320.0	325.0	330.0	336.0	342.0	348.0	354.0
実績値	0.0	0.0	118.0	155.0			
達成度			35.76	46.13			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
春と秋の全国交通安全運動に合わせて、自動車の安全運転講習会を開催し、市民の参加が増えることで、安全運転の意識が向上していることがわかる。		平成29年度以降、毎年約1%ずつ増やすことを目標に目標値設定した。		泉佐野警察署等と連携した地道な講習会開催等の啓発活動を実施。R5年度と比較し参加者数が伸びているが目標値には至っていないため、引き続き市報等を利用して積極的な参加を呼び掛けていく。			
③ KPI 3		交通安全教室参加者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	5,300.0	5,300.0	3,600.0	3,600.0	3,600.0	3,600.0	3,600.0
実績値	3,831.0	3,551.0	4,662.0	3,102.0			
達成度	72.28	67.0	129.5	86.17			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内のこども園（私立幼稚園は依頼があった場合のみ実施）、小学校で交通安全教室を開催し、児童の参加が増えることで交通安全の意識が向上していることがわかる。		過去3ヶ年の実績を勘案し、3,600人を目標値とした。		令和6年度も全市立こども園（私立幼稚園は依頼があった場合のみ実施）・小学校で実施している。			
④ KPI 4		放置自転車の撤去件数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	365.0	345.0	160.0	150.0	140.0	130.0	120.0
実績値	130.0	166.0	164.0	137.0			
達成度	280.8	207.8	97.56	109.4			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
放置自転車の撤去件数が減少することで、安全で快適な生活環境の保持につながる。		令和5年度の実績から、毎年10台ずつ減少させていくことを目標とした。		新型コロナウイルス感染症が落ち着き、人々の移動が回復したが、令和6年度の駅前放置自転車等の撤去台数が、前年度より27台減少した。			
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

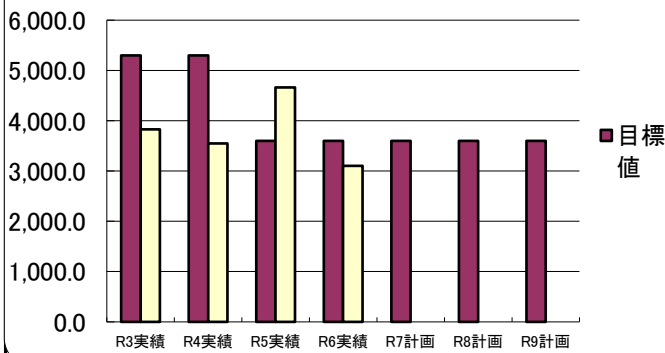
KPI①



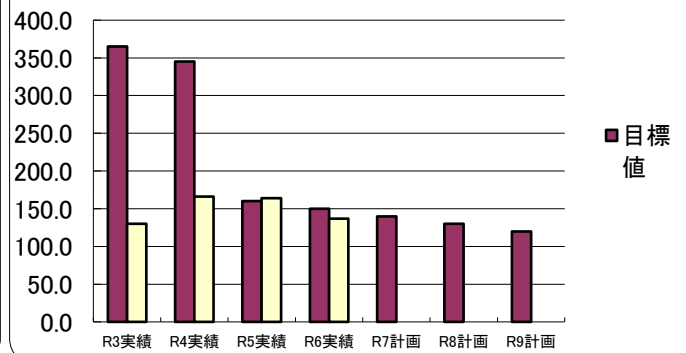
KPI②



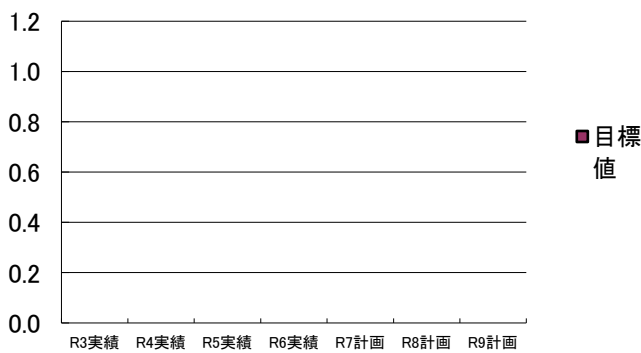
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	新型コロナウイルス流行が落ち着き、人々の移動が回復したことにより、令和6年の泉佐野市交通事故死傷者数83名の増となりました。駅前放置自転車等数は、前年度に比べ27台の減となりました。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	満足度が平成24年度54.6から平成30年度51.7に低下しており、引き続き施策の重要性を積極的に啓発していく必要がある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	全国的に交通事故発生件数は年々減少傾向にあります。引き続き市民への交通安全啓発を進めるとともに、泉佐野警察署、交通事故をなくす運動推進本部、交通指導員等と連携を図り、交通事故のない安全で安心して暮らしていける泉佐野市をめざしていく。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	泉佐野市の交通事故発生件数及び死傷者数は、新型コロナウイルス流行が治まり人々の移動が多くなったことにより令和6年は前年に比べ増加となりました。死者数につきましては3名の減となりましたが、引き続き交通事故死ゼロを目指して更なる交通安全運動の推進を行う必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		C	概ねKPIの達成に近づいてきている。ただし、安全運転講習会参加者数については、伸び悩んでいるように見受けられる。伸び悩みの原因を明確にするとともに、具体的な対策を講じられたい。
三次評価 (理事者による評価)			

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01009300	交通安全教育事業	8,829	74,638	2,488	0	B
2	01009400	自転車等駐車場運営事業	5,489	90,173	9,421	0	B
3	01009500	放置自転車対策事業	4,844	11,060	10,834	0	B
4	01009650	自動車駐車場運営事業	2,731	1,706	-1,559	0	B
合計			21,893	177,577	21,184	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	040202010	予算コード	01009300	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	交通安全教育事業			正規職員数 1.03	国庫支出金 0	有効性	B	交通安全意識の高揚を図り、交通事故をなくすように効果的に事業を進めていく。	
担当課	道路公園課			嘱託職員数 0.05	府支出金 0	効率性			
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	妥当性	B		
				歳出(千円)	その他 72,150	受益者負担	該当なし		
				人件費総額 8,829	一般財源 11,317				
					減価償却費 0				
					事業費 74,638				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	83,467	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	840	公的関与	A	交通安全教室の実施。 交通安全啓発看板の設置。 高齢者の運転免許証自主返納に対する「さのぼ」の付与。 中学生以下及び65歳以上の高齢者に対して自転車用ヘルメットの購入補助を「さのぼ」にて実施。 泉佐野市地域公共交通協議会の開催 デマンド交通の実証実験の実施	
対象				活動指標	R6実績				
不特定の市民	対象数			交通安全教室の開催	22.0	実施主体・委託化	B		
				運転者講習会の開催	6.0				
事業の内容						他の事務事業との関連	C		
交通安全教室、交通安全に関する各種講習会の開催。警察等と連携のもと、交通安全対策を図る。各種団体と連携・協力のもと交通安全運動を展開し、交通安全思想の普及や意識の高揚を図り、交通安全の推進と交通事故抑止に努める。高齢者の運転免許自主返納を促すため、地域ポイント「さのぼ」10万ポイント進呈事業を行なっている。小学生以下の自転車用ヘルメット購入の助成として地域ポイント「さのぼ」ポイント(購入額の1/2、上限3千円)進呈事業を行なっている。				交通安全啓発看板(電柱幕)設置枚数	45.0	透明性	B		
				交通指導員	259.0	財政健全化計画	該当なし		
				成果指標	R6実績	財政健全化の取組	該当なし		
				交通安全教室参加園児・児童	3,855.0	改革改善プラン達成度	該当なし		
				運転者講習会参加人数	155.0				
				交通事故件数	445.0				
事業の目的				コスト指標	R6実績				
交通安全思想の普及や意識の高揚を図り、交通事故の防止を図る。				市民一人当たり交通安全教育コスト	840.0				

事務事業コード	040202020	予算コード	01009400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	自転車等駐車場運営事業			正規職員数 0.44	国庫支出金 0	有効性	A	平成29年度より指定管理者制に移行した。		
担当課	道路公園課			嘱託職員数 0.4	府支出金 0	効率性	C			
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0					
	■条例・規則			歳出(千円)	その他 80,752	妥当性	A			
	泉佐野市立自転車等駐車場の設置及び使用に関する条例 同条例施行規則			人件費総額 5,489	一般財源 14,910					
					減価償却費 0	受益者負担	A			
					事業費 90,173					
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	95,662	緊急性	A	事務事業実施内容		
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	963	公的関与	C	鶴原第2駐輪場が老朽化のため、南海鶴原駅海側に鶴原第2駐輪場を移転する。平成28年4月オープン。 平成30年8月、ホテル建設にともない、りんくう自転車置場が移転した。		
対象		対象数		活動指標	R6実績					
不特定の市民				市営自転車置場設置数(有料)	9.0	実施主体・委託化	C			
鉄道駅へのアクセスに自転車・原動機付自転車を使用する方				市営自転車置場設置数(無料)	0.0					
事業の内容				市営自転車置場収容台数	5,409.0	他の事務事業との関連	C			
市内6駅周辺の9か所に自転車置場を設置し、指定管理者により管理・運営を実施する。										
				成果指標	R6実績	透明性	B			
				自転車・原付 1日利用台数(台)	209.9					
				自転車・原付 月極利用1日当たり台数(台)	2,310.5	財政健全化計画	該当なし			
				自転車置場利用稼働率(%)	58.3					
				撤去自転車台数(台)	137.0	財政健全化の取組	該当なし			
				コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的				1日当り自転車置場運営に係るコスト(円)	318,873.3					
鉄道駅に自転車・原動機付自転車アクセスする方に駐輪場を提供することで、スムーズな乗降を実現し、公共交通機関の利便性を向上させるとともに、放置自転車を防止し、快適な都市環境と円滑な交通の確保を図る。				1日当り自転車置場売上(円)	244,299.3					

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	040202050	予算コード	01009500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	放置自転車対策事業			正規職員数 0.39	国庫支出金 0	有効性	A	平成29年度より駐輪場指定管理者へ本業務を随意契約している。	
担当課	道路公園課			嘱託職員数 0.35	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	B		
	■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)	その他 226				
	泉州野市自転車等の駐車秩序に関する条例・同条例施行規則			人件費総額 4,844	一般財源 15,678	妥当性	A		
					減価償却費 0				
					事業費 11,060	受益者負担	C		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	15,904	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	160			撤去台数137台	
対象				活動指標	R6実績	公的関与	C		
その他	対象数			撤去作業回数	111.0				
放置自転車禁止指導整理区域内に放置している自転車				撤去台数	137.0	実施主体・委託化	C		
事業の内容									
市内各駅周辺の放置自転車禁止指導整理区域内において放置自転車の状況により、定期的に放置自転車への警告・撤去を行う。放置自転車の告示・照会、所有者から撤去保管手数料を徴収し、再度放置しない旨の誓約書の提出を求める。業務を民間業者へ委託している。						他の事務事業との関連	C		
				成果指標	R6実績	透明性	B		
				返還台数	52.0				
						財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				撤去自転車1台当たりの経費	116,087.6				
自転車等の駐車秩序を確立することにより、都市環境の悪化を防止し、緊急時活動の阻害防止並びに通行機能及び歩行者の安全の保持を図ることを目的としている。									

事務事業コード	040202030	予算コード	01009650	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	自動車駐車場運営事業			正規職員数 0.3	国庫支出金 0	有効性	B	平成19年1月よりすべての駐車場の有料化及びNPO法人・利用者組合への維持管理委託を実施。	
担当課	道路公園課			嘱託職員数 0.05	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	B		
	■要綱・要領			歳出(千円)	その他 3,265				
	泉州野市自動車駐車場管理運営に関する要綱			人件費総額 2,731	一般財源 1,172	妥当性	C		
					減価償却費 0	受益者負担	C		
					事業費 1,706				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	4,437	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	45			利用台数121台	
対象				活動指標	R6実績	公的関与	D		
不特定の市民	対象数	165		自動車駐車場設置数	10.0				
				駐車場収容台数	165.0	実施主体・委託化	D		
事業の内容									
泉州野市自動車駐車場管理運営に関する要綱・泉州野市自動車駐車場管理業務処理要領に基づく自動車駐車場の維持・管理を行う。						他の事務事業との関連	D		
				成果指標	R6実績	透明性	C		
				駐車場使用台数	124.0				
				駐車場管理委託台数	165.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				使用者一人当たりの経費	35,782.0				
自動車駐車場の管理運営の適正化を図り、路上駐車等の防止と住民の安全・住環境の向上を図る。									